

令和5年度 第1回 勝山市生活交通地域協議会 会議録

1. 開催日時 : 令和5年6月15日(木) 午後1時30分～
2. 開催場所 : WEB会議、市役所3階第1会議室
3. 出席委員 : 下記のとおり※敬称略
4. 欠席委員 : 4名(下記備考のとおり)
5. 傍聴人数 : なし

区分	所属団体及び役職等	氏名	備考
学識経験者	福井大学 教授	野嶋 慎二	WEB
関係機関	福井運輸支局 首席運輸企画専門官	五十嵐 重晃	WEB
	福井県地域戦略部 交通まちづくり課長	廣瀬 貴之	代理：吉川 優花 主事
	奥越土木事務所 勝山道路課技術次長	小島 高志	WEB
	勝山警察署 交通課長	高木 省吾	
	勝山市区長連合会 会長	大久保 満	欠席
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男	欠席
	勝山市民生委員児童委員協議会 会長	松田 敏男	
	えちぜん鉄道株式会社 取締役 営業開発部長	佐々木 大二郎	WEB
	京福バス株式会社 経営推進室 企画営業グループ 部長	松田 康弘	WEB
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	山内 誠司	WEB
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦	WEB
	福井県交通運輸産業労働組合協議会	前川 剛	WEB
市職員	副市長	小沢 英治	
	政策幹	谷内 英之	欠席
	勝山市商工文化課長	畑中 健徳	
	勝山市福祉課長	黒瀬 しのぶ	
	勝山市建設課長	藤澤 武久	欠席
	勝山市教育総務課長	安岡 由佳里	
事務局	未来創造課 課長	小林 真紀	
	未来創造課 課長補佐	森 弘章	
	未来創造課 地域交通係長	廣田 篤史	
	未来創造課 主事	織田 隆大	

令和5年度 第1回 勝山市生活交通地域協議会

1. 会長挨拶・座長選出

小沢会長の挨拶の後、福井大学 野嶋教授が座長に選出された。

2. 報告事項

(報告事項1～6について事務局から一括して説明)

(1) 勝山市地域公共交通会議と勝山市生活交通地域協議会の統合について

令和4年度に勝山市全体の附属機関の見直しが行われ、組織のスリム化が図られました。それに伴い、委員構成や協議内容が同じである「勝山市地域公共交通会議」と「勝山市生活交通地域協議会」を、「勝山市生活交通地域協議会」に統合しました。今後は、「勝山市生活交通地域協議会」にて地域の交通について協議していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) えちぜん鉄道の運行実績について【資料1】

資料1をご覧ください。

2ページがえちぜん鉄道全路線の利用者数の実績で、上の表が月別、下の表が年度別となっています。令和4年度の実績は339万1,203人となっております。えちぜん鉄道の利用者数はコロナ前までは開業以降、増加傾向にあり、最も多かった平成30年度は369万9,553人の実績があったことから、令和4年度もコロナの影響があったと考えられます。しかし、平成30年度と比べると30万8,350人、8.3%の減となっておりますが、令和3年度比では38万8,176人、12.9%の増となり、新型コロナウイルス感染症の影響による減少から回復傾向にあると考えられます。月別にみると、令和4年度は全体的に利用者が前年度よりも多くなっており、ちょうどコロナ前の平成30年度と前年度の令和3年度の間あたりの利用者となっております。また、資料にはありませんが、通学定期はコロナ影響前の令和元年度比で101.9%、通勤定期は102.0%、回数券は92.0%と日常的な利用はコロナ前と同程度まで回復していますが、定期、回数券以外の利用は83.2%と観光などの非日常的な利用は回復しきってはおられません。

(3) 市内コミュニティバスの運行実績について【資料2】

資料2をご覧ください。

3ページの上の表が路線別、年度別の利用者数の実績、下の表が路線ごとの利用者の比率となっています。コミュニティバス全体でみると、令和4年度の年間実績は5万4,662人で令和3年度比7,906人、16.9%の増、令和元年度比で1万5,133人、21.7%の減となっています。路線ごとにみると勝山駅から恐竜博物館へ向かう「ぐるりん中部」、白山平泉寺へ向かう「平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便」が令和元年度比で大きく減少して

いることから観光客の減少が大きく影響していると考えております。他の路線についても令和元年度比で減少している路線が多く、市民の方の利用も減少しております。路線ごとの利用者比率を見ると多い順に「ぐるりん中部」が1万6,132人で全体の29.5%、「北郷予約便」が7,218人で13.2%、「平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便」が6,637人で12.1%となっています。

「北郷予約便」及び「荒土・野向予約便」の野向方面について令和5年の1月下旬よりフルデマンドバスの運行を開始しております。7ページにフルデマンド部分の利用者数を抜きだした実績がございます。北郷予約便については、令和2年は平均220人、令和3年は平均260人ほどで、令和4年もフルデマンドになるまでは平均260人程度でしたが、2月は313人、3月は486人と利用者が増加しています。野向予約便についても令和2年の6月の101人をピークに30人～50人程度の利用人数でしたが、フルデマンド開始以降70人～80人と増加しています。

（４）市町内交通分析シートについて【資料３】

資料3（6P）をご覧ください。市町内交通分析シートにつきましては、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ乗合バスの利用回復・促進に向けて、各路線の生産性向上のため、令和2年度より各市町にて作成しているものとなります。

対象路線は市町の生活交通維持支援事業補助金における補助対象路線となっており、本市においては、勝山交通（株）様と大福交通（有）様の運行する10路線が対象となっております。

内容としましては、①運賃体系等の路線の概要、②路線の運行回数・利用者数等の指標、③利用状況等から見た路線の必要性、④広域路線への接続状況、⑤生産性向上に関する取組の5項目による構成となっております。実績等については先に説明がありましたので、こちらでは⑤の生産性向上に関する取組についてご説明いたします。基本的にはどこか一つの路線にのみ限定した取組というよりも、全体的なものになりますので、最初のぐるりん中部のページをご覧くださいいただければと思います。

令和4年度における取組ということで、まず運転免許証自主返納等支援事業については、令和4年度の申請者数は69名となっております。

池袋暴走事故があった令和元年度に返納が過去最多となり、以降はその反動もあってか、減少傾向にありますが、免許を返納された65歳以上の高齢者の方を対象にバス無料券を配布しており、買い物や通院の際のバスの利用を促進しております。

続いて、昨年度の事業として、バス・タクシー利用券配布事業を実施しました。市内在住の①満59歳以上の方、②母子健康手帳の交付を受けた妊婦又は令和3年4月2日以降に出産した方、③障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方、を対象にバス・タクシー利用券4,000円分（100円×40枚）を配布しました。

10,306人に412,240枚を配布し、182,906枚（44.37%）のご利用がありました。

その他、小中学生を対象に通学用の定期券を設けております。

今後の取組については、今後も広報PR活動や乗り方教室などを実施していきます。

また、昨年度実施しましたバス・タクシー利用券につきましては、単年度で終了のため今年度は実施の予定はございません。

(5) 勝山・大野ラインの実績報告について【資料4】

資料4をご覧ください。

勝山・大野ラインについては令和3年10月26日に開催いたしました第38回勝山市地域公共交通会議にて承認いただきまして、令和4年度4月から6月までと9月～11月までの土・日・祝日にえちぜん鉄道勝山駅、平泉寺白山神社、JR越美北線大野駅を結ぶバスとして1日5便運行しておりました。令和4年度の実績を、日ごと、便ごと、発着場所ごとに乗車人数を記載しております。4月～6月の前半の実績が161名、9月～11月の後半の実績が275名となっております。PRとしましては、4月の運行開始時には勝山市のHPへの掲載や勝山駅及び平泉寺のバス停での掲示のみでしたが、4月下旬以降は大野市、えちぜん鉄道にも周知を依頼し、HPへの掲載や車内のアナウンス等で案内を実施しました。特に前半に比べて後半の勝山大野間の利用者割合が増えており、大野から平泉寺へ訪れる方が増えております。

(6) 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について【資料5】

まずはじめに地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）とはということですが、こちらは、地域の公共交通の確保・維持、利便性の向上等の取組みについて、国が支援するために創設された事業です。勝山市では平成27年にこの協議会で協議を経て国に申請し認定されました。以降は毎年ローリングを行いながら申請をしています。フィーダー系統とは、地域間交通ネットワークと接続する系統をいい、もう少し噛み砕いた言い方をしますと、複数の市町村をまたぐ路線、これを幹線としますと、幹線に接続する支線をフィーダー系統といたします。勝山市では、「京福バス勝山大野線」に接続している「北郷予約便（勝山交通）」と「平泉寺・猪野瀬予約便（大福交通）」の2路線が対象となっております。

この事業は、毎年春に計画を作成し、後ほどの議案にもありますが、本協議会で承認を得た上で提出し、冬に自己評価を実施し、国から評価を受けることになっています。

その評価結果についてが、資料にあります二次評価結果となります。

まず評価点についてですが、北陸新幹線開業に向け大野市と連携して、周遊バスを試験運行したこと、大野市の高校へ入学する生徒と保護者を対象に、バスの乗換案内と定期券購入にかかる金額や補助制度について周知を図ったことが評価されています。

今後期待されている取組についてですが、北陸新幹線開業に向け、開業効果を確実に生かせるように体制の整備を進めること、地域公共交通計画について、目標値と実績値の乖離が大きいため、現状に見合った見直しを行うこと、幹線系統勝山大野線の輸送量が減少

傾向にあることから、情報共有や利用促進・系統維持について、県や関係者と連携しながら取り組んでいくことということとなっております。現在においても勝山大野線について国・県補助と併せながら大野市と、経費の補助等を行っております（R4：5, 711, 200円）が、事業者（京福バス）撤退の可能性があるため勝山及び大野の地元業者への路線を引き継ぐ等の協議を進めており、系統維持について取り組んでいきます。

●野嶋座長

今の事務局からの報告について、各事業者から補足説明等ございましたらお願いします。

●えちぜん鉄道 佐々木部長

勝山市から実績をご説明いただきましたが、日常型の利用はコロナ前と比較しても100%を超えています。非日常型のお客様が戻ってきていないというのが現状でございます。今後は、沿線市町の様々なイベントや恐竜博物館のリニューアルオープン等が控えておりますので、今まで以上に回復していくものと考えていますので、しっかりと運行していきたいと思っています。

●勝山交通 山内社長

今年の1月半ばから北郷と野向でフルデマンドバスの運行を開始させていただいております。実感といしましては、皆様結構ご利用いただいております。ある程度利用される方は決まっているのですが、その中でも自由な時間を設定して予約いただいておりますので定期運航に比べても利用しやすくなっているのではないかなと思います。

●大福交通 中村代表取締役

うちのコミュニティバスは生活路線と観光路線とが混合になっている路線が多いのですが、観光路線が少ないのが一つのウィークポイントかと思えます。

なかなかコロナの影響から回復しきっていない、恐竜博物館も閉館している影響もあって観光客が戻り切っていないのが実情でございます。

●野嶋座長

ありがとうございました。

フルデマンド運行になって自由度が増して、順調に行っていることは良いことだと思えました。

観光面に関しましては北陸新幹線開業もありますし、まだまだこれからということではないかなと思います。

それでは、以上の報告に対しまして、質問等がありましたらお願いします。

（質問等無し）

それでは次の議題に移りたいと思います。事務局よりご説明をお願いします。

3. 議題

(1) 令和6年度生活交通確保維持改善計画の見直しについて

それでは、資料の22ページをご覧ください。

先ほど報告事項でご説明しました生活交通確保維持改善計画の令和6年度申請案になります。

勝山市においては、市民が生活する上で必要な公共交通期間の運行・維持がなされているものの、夫婦共働きなどにより、免許証の取得率も高く、モータリゼーション（車社会化）が進展しているため、クルマが生活必需品となっています。また、商業・公共施設等の点在化が進み、クルマに依存したライフスタイルが市民の間に浸透・定着化しています。このような状況の中で、公共交通機関の利用者は年々減少を続け、生活交通の維持確保が厳しさを増しております。

そこで、平成23年から本協議会を設置し、勝山市に適した交通施策・運行スタイル等の研究を行ってきた他、他市町の視察や、各地区での意見交換会、住民意識調査等を重ねてきました。昨年度には勝山市地域公共交通計画を策定し、利用しやすい効率的な公共交通の在り方について、基本方針を定めました。

23ページをご覧ください。本計画の対象となる北郷予約便及び平泉寺・猪野瀬予約便の事業目標および実績になります。令和6年度から令和8年度までの年間利用者数目標を資料のとおり定めました。また、参考として令和4年度時の目標値と実績値を記載しております。平泉寺・猪野瀬予約便については、コロナの影響で減少しておりますが、北郷予約便においては4年度の目標値を612人上回ることができました。

また、3番の「目標を達成するために行う事業及びその実施主体」については、乗り方教室の実施による利用促進や京福バス勝山大野線でのOD調査を実施し、分析結果に基づいた利用促進啓発。免許返納支援事業との連携強化による、車の運転に不安を感じている方々へのバスの利用促進を行ってまいります。

25ページ26ページはこれまでの協議会等の開催状況の一覧となっております。

27ページはこれまでの意見の反映状況等についてです。意見交換会の開催やアンケートの実施、

それによる、車両の小型化、デマンド区間の導入、交通計画の策定等について記載されております。以降は別紙となりますが、28ページは各路線の目的・必要性について記載しております。

北郷予約便については、当該地域を区域運行することにより、区域内をきめ細かくカバーしながら中心市街地の医療機関や商業施設等への移動手段を確保することで、高齢者等交通弱者の外出機会の拡大を図るとともに、これらの施設で地域間幹線系統等に結節することで、中心市街地への移動等、広域的な移動利便性を向上することを目的として運行するものです。また、平泉寺・猪野瀬予約便については、隣接する地区を走る平泉寺線を当該地域にも区域運行で乗り入れすることにより、これらの集落の高齢者やクルマを運転しない層を主たる対象として、中心市街地への移動手段を確保し、地区内の日常生活施設の利用利便性を向上させるとともに、路線バスとの乗継等による広域的な移動利便性の向上を目的として運行する

ものです。

29ページについては事業の効果ということですが、前述したとおり、移動手段の確保及び利便性の向上等を見込んでおります。

30・31ページについては、各路線の現在の運行時刻等になっております。北郷予約便はフルデマンドの区域運行、平泉寺・猪野瀬予約便は定時定路線と区域運行のハイブリッドになっており、毎日運行を行っております。

32ページの運行予定者の決定方法については記載のとおり定めがございしますが、後述します大福交通様と勝山交通様にお願いする形となっております。

33ページについては、各路線等の関係性や整合性等について記載しております。北郷予約便については、北郷地区から勝山市中心部方面を通り大野市まで向かう広域的な移動を担う路線バスの空白時間帯に運行し、福井勝山総合病院や勝山駅で接続できるようダイヤを設定しています。また、従来、勝山市街地へのバス利用が著しく不便な時間帯に当該便を運行することにより、勝山市街地への移動が可能になっただけでなく、乗継による大野方面までの広域的な移動が期待できます。

平泉寺・猪野瀬予約便については、京福バス勝山大野線を補完するよう、路線バスの空白時間帯に運行し、かつ、大野方面への接続も考慮してダイヤを設定しています。当該路線の新設によって、従来路線バスへの乗り継ぎが困難であった平泉寺地区や、路線バスが運行しているがバス停まで遠かった猪野瀬地区において乗り継ぐことができるようになり、路線バスの利用増が期待できます。

34ページについては、運行系統の概要及び運送予定者になります。先述しましたとおり勝山交通様及び大福交通様に運送をお願いしております。運行系統については、どちらも勝山駅を起点に総合病院を經由し、各地区のバス停が終点となっております。以降の運行日数は365日、運行回数は、右側の計算例をご覧ください。基本的には1日の運行回数に365日をかけて計算していますが、フルデマンドとなっている北郷予約便については、2月から4月の実績の平均を1.2倍して計算しております。

35ページは事業を行う地域の概要ということで、人口等は令和2年国勢調査の数字等をベースにしております。

●野嶋座長

今の事務局からの説明について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

●民生委員児童委員協議会 松田会長

この議題ではなくて、前の報告事項の市町内交通分析シートにおける生産性向上の取組についてなんですが、バスタクシー利用券の配布対象者が満59歳以上という半端な数字なのはなぜなのでしょう。

●事務局

満59歳以上ということで、昨年度60歳になられる方を対象にするためにこのような条件

になっております。高齢者の方でワクチン接種もございましたので、ワクチン接種の対象となる方で交通手段が無くて行けないということがないように、そこまで年齢を下げております。

●野嶋座長

ありがとうございました。それでは他に何かございませんでしょうか。

●福井運輸支局 五十嵐首席運輸企画専門官

すいません、先ほど質問しようと思っていたことなのですが、北郷と野向でフルデマンド運行が開始したことによって既存のタクシーへの影響があったのか、もしあったのならほどのくらいの影響があったのかを教えていただければと思います。

●勝山交通 山内社長

当初はタクシーの営業に響くかなと思っていましたが、そんなことは無くて、フルデマンドバスですと1時間前までに予約が必要で、タクシーはその場で連絡いただければ5分程度で到着できます。こういった違いがありますので、普段はフルデマンドバスを利用されている方でも、すぐに帰りたい時はタクシーでという風に棲み分けができますので、思ったほどタクシーへの影響はなかったというのが実感です。またフルデマンドバスについて、基本は今までの定期便を利用された方がメインですが、自由な時間になったことによって新規のお客様も出てきたかなと感じております。

●福井運輸支局 五十嵐首席運輸企画専門官

ありがとうございます。追加でフルデマンドバスの乗り合わせの比重なども感覚で結構ですので教えていただければと思います。

●勝山交通 山内社長

乗り合わせについては思ったよりも多い印象です。今までの定期便の時間に近い時間帯に予約される方が多くいらっしゃいまして、そういった時間ですと3~4名お乗りいただくこともございます。

●野嶋座長

ありがとうございました。それでは他に何かございませんでしょうか。

それでは、議決に移りたいと思いますが、令和6年度生活交通確保維持改善計画について承認いただける方は拍手をお願いいたします。

(拍手多数)

ありがとうございました。賛成多数ということで議決されました。今後細かい訂正等がありましたら事務局で対応させていただきます。それでは、次の議題に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(2) 北郷予約便「北郷まちづくり会館」、「志比原」バス停留所の新設について

36ページをご覧ください。北郷予約便の「北郷まちづくり会館」、「志比原」のバス停新設について説明させていただきます。

北郷地区に資料のとおり、北郷予約便のバス停を新設してほしいとの要望がありました。まず「北郷まちづくり会館」についてですが、会館で行事等があった場合に参加者の移動手段としてコミュニティバスを利用できるようにしたいため、「志比原」については、資料に位置図を付けておりますが、直近のバス停が「新町」、「森川集落センター」となっており志比原地区の人にとってバス停が少し遠く、利用しづらいとの要望があったためです。

令和4年3月に策定した勝山市地域公共交通計画では、基本方針として「誰もが利用しやすい、利用したくなる公共交通ネットワークづくり」を掲げており、この方針から北郷地区では令和5年度1月下旬よりフルデマンドバスを試験運行しています。このフルデマンドバスをより利用者のニーズに合わせた物に改善するためバス停を新設させていただきたいと思っております。

●野嶋座長

今の事務局からの説明について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

(質問事項なし)

それでは、議決に移りたいと思いますが、北郷予約便「北郷まちづくり会館」、「志比原」バス停留所の新設について承認いただける方は拍手をお願いいたします。

(拍手多数)

ありがとうございました。賛成多数ということで議決されました。

4. その他

●野嶋座長

それでは、4番目 その他としまして何か報告事項などがございましたらどのようなことでも構いませんので、交通全般について話し合う場ですので何かありましたらお願いいたします。

(その他の報告事項等なし)

●野嶋座長

ありがとうございました。

以上をもちまして勝山市生活交通地域協議会を終了させていただきます。

みなさま、ご協力ありがとうございました。